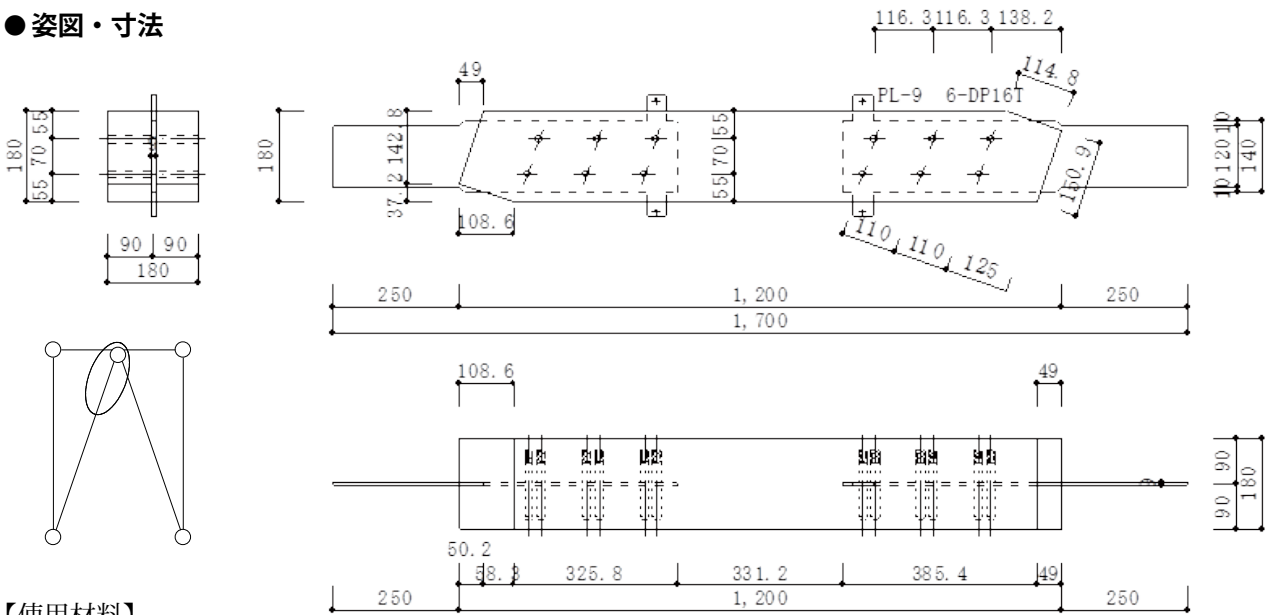


ブレース端部接合部

集成材/カラマツ/E95-F270/ブレース 180 × 180 /母材形状 a ドリフトピン 6本 × 2 φ 16

● 姿図・寸法



【使用材料】

ブレース材 180mm × 180mm (カラマツ E95-F270)

鋼板 9mm (SS400)

接合具 ドリフトピン φ 16, 実長 130mm

● 適用条件

引張：ドリフトピン本数を増やした場合、破壊モードが変化する可能性があり、単純に本数倍の性能が得られないので注意が必要である。また、二次応力に対する配慮も必要となる。

● 概要

集成材を用いたブレース端部接合部。接合部は鋼板挿入型接合とし、木材と鋼板を緊結する接合具にはドリフトピンを用いている。

● 接合具 (メーカー、入手方法等)

ドリフトピン

● 問い合わせ先 URL

—

● 理論式

—

● 計算式

・終局せん断耐力  $P_a$  ( $P_{u0}=P_{uj}$  として算出)

$$P_a = j_r K_r \cdot P_{u0}$$

$j_r K_r$ ：接合種別の靱性係数 (0.90)

・基準終局せん断耐力  $P_{uj}$

$$P_{uj} = \sum_{i=1}^m j_n K_n \cdot n_i \cdot p_{u0}$$

$j_n K_n$ ：1列の接合具本数による耐力の低減係数 (0.92)

$n_i$ ：i列のボルト本数 m：列数

・単位接合部の終局せん断耐力  $p_{u0}$

$$P_{u0} = r_u \cdot p_y$$

$r_u$ ：終局強度比 (1.0)

・単位接合部の降伏せん断耐力  $p_y$

$$p_y = C \cdot F_e \cdot d \cdot l$$

C：鋼板挿入2面せん断接合の接合形式係数 (モードⅢ)

$F_e$ ：主材の基準支圧強度 (カラマツ繊維方向 25.4 N/mm<sup>2</sup>)

d：接合具径 (16mm)

l：有効長さ (119mm)

●モデル化

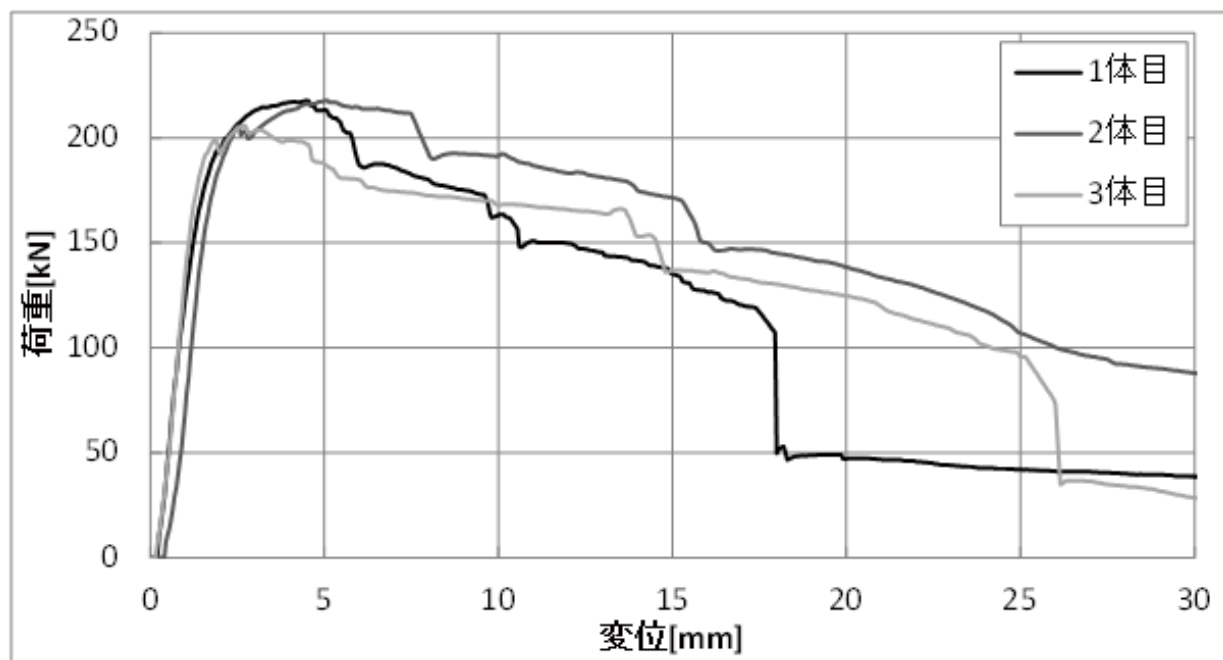


●特性値

	最大荷重 [kN]	最大荷重時変位 [mm]	初期剛性 [kN/mm]	終局耐力 [kN]
1 体目	217.9	4.5	172	195.2
2 体目	217.8	5.1	139	195.0
3 体目	206.0	2.7	160	178.5

※剛性は  $0.1P_{max}$  から  $0.4P_{max}$  の傾きから算出した。

●荷重変形



●破壊性状

- ・ドリフトピンの曲げ降伏。ドリフトピンの配置列に沿ったせん断破壊